

なぜ人は
儀礼を行うの
だろう。

9/20²⁰²⁵ 11/3^{祝月}
土 → 月

[開館時間] 9:30～17:00

*入館は閉館の30分前まで

[休館日] 毎週月曜日

*ただし10/13・11/3は開館し、翌日休館

後援 = (公財)松戸市文化振興財団、(一社)松戸市観光協会、
北総線沿線地域活性化協議会、チバテレ

協力 = 京成電鉄株式会社、流鉄株式会社

 松戸市立博物館
MATSUO MUSEUM

観覧
無料

誕生

館蔵資料展

結婚

死

の儀礼

人生の始まり方 終^{しま}い方



■講演会

学芸員講演会「死者の『魂』の行方」

10月12日(日) 13:00～15:00

講師＝青木俊也(当館学芸員)

会場＝博物館講堂 申込＝事前申込制

歴史を語る「人生儀礼の世界」

10月25日(土) 13:00～15:00

講師＝長沢利明氏(元法政大学講師)

会場＝博物館講堂 申込＝事前申込制

■土曜解説会

担当学芸員が展示解説を行います。

会期中の土曜日(9/20、9/27、10/4、10/11、10/18、11/1) 13:30～14:15

会場＝企画展示室 申込不要(直接会場へ)

*10月25日は講演会開催のため解説会はありません。

■ワークショップ

「お葬式の饅頭を作ろう!」

最近、あまり見なくなったお葬式で配られるお饅頭を作ります。その後、松戸市立博物館で学芸員から館蔵資料展の解説を聞きます。

日時＝10月26日(日) 12:30～17:00

会場＝新松戸市民センター・松戸市立博物館

講師＝竹内三代治氏(大正堂・和菓子職人)

定員＝10名 申込＝事前申込制

*応募者多数の場合は、抽選になります。お申込み方法はHPをご覧ください。イベント内容はやむを得ず変更になる場合がございます。詳しくはHPにて最新の情報をご確認ください。



交通案内 | ①京成電鉄松戸線「八柱駅」JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩15分。または京成バス千葉ウエスト小金原団地循環バス案内所行新松戸駅行「森のホール21・公園中央口」下車すぐ。②JR常磐線・武蔵野線「新松戸駅」下車、京成バス千葉ウエスト八柱駅行「森のホール21・公園中央口」下車。地下道通ってすぐ。

駐車場の案内 | 米館者専用の駐車場はございませんので、21世紀の森と広場の有料駐車場をご利用ください。

*障害者専用駐車場あり。詳しくはお問い合わせください。

松戸市立博物館

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀671

Tel. 047-384-8181

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/m-muse/>



守り継いできた人々の
心に想いをはせ、
今に続くかたちを知り
未来へと繋げていく。

◆
本展は、人が誕生し、成人となり
結婚し、老いて死を迎え、先祖となつて
まつられるまでの人生を豊かに彩る
様々な儀礼をテーマにしています。
60年程前までの松戸市内の農村では、
葬式は近隣の人たちの手助けによつて
自宅で行われていました。人の一生に
関する数々の儀礼を通して、地域社会で
培われていた人生の姿を伝えます。
また、現在行われている結婚式や
成人式などの様子もご紹介します。

誕生の儀礼

子どもの成長に ねがいをこめて

お宮参りにお食い初めや雛まつり。

みなさんは生まれてから今までにたくさんのお祝いをしてもらい、大きくなりました。

【展示資料】 宮参りの祝い着、雛人形、鯉のぼりなど



結婚の儀礼

むかしの結婚式の すがた

今から60年ぐらい前まで行われていた結婚式の様子をご紹介します。むかしは結婚式のことを「祝言」と呼びました。現在の結婚式とのちがいを探してみましょう。

【展示資料】 嫁入り衣装、祝言の道具など

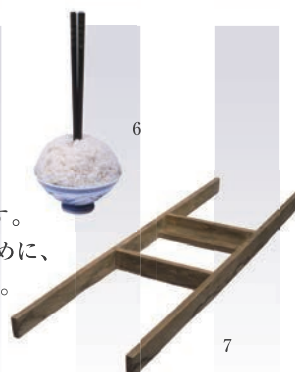


死の儀礼

むかしのお葬式の すがた

人が死ぬことは、とても悲しいことです。むかしは死んだ人をあの世に送るために、どのようなことをしていたのでしょうか。

【展示資料】 葬式の祭壇、輿など



現代の儀礼

今の人生儀礼のすがた

かつて行われてきた人生儀礼は、今、どのような形で続いているのでしょうか。儀礼に関する現在についてご紹介します。

【展示資料】 千歳飴、成人式資料など



1. 宮参り(個人提供) 2. 女兒宮参り祝い着 3. 振り袖の嫁(個人提供)
4. 嫁入り衣装・振り袖 5. 葬列(有限会社ヤブサキ葬儀社提供)
6. 枕飯(レブリカ) 7. 輿 8. 令和の結婚式(個人提供) 9. 千歳飴袋